

消化器肝臓内科で治療をうけられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 ダブルバルーン内視鏡（DBE）施行時の体位が及ぼす影響に関する後方視的研究

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門 病院助教 横山健介

《研究の目的》 小腸疾患や術後再建腸管を有する胆道疾患の患者に対するダブルバルーン内視鏡を用いた検査・治療処置時における体位が及ぼす影響と安全性を明らかにする。

《研究期間》 倫理審査委員会承認後～西暦 2025 年 12 月 31 日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

小腸疾患や術後再建腸管を有する胆道疾患の患者さんで、2006年1月1日から2018年12月31日までに、DBE もしくは DB-ERCP を施行した患者さん。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）等。

《外部への情報の提供》

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

《研究組織》

自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門 病院助教 横山健介

熊本大学大学院生命科学研究部 小児外科学・移植外科学分野 教授 日比泰造

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科 担当医師 准教授・島谷昌明
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号
TEL : 072-804-0101 (代表) FAX : 072-804-0131